



厚生労働省委託事業：感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

令和7年度IDCL(長期) 研修の様子を紹介



(寄稿)危機管理・運営局 企画調整部 上級研究員 佐藤 瞳

JIHSでは、厚生労働省委託事業として、公衆衛生行政、医療提供体制、感染症疫学や臨床等に関する専門的な知見や経験を有する既存の多様な職種の感染症専門人材に対し、地域における将来の感染症危機への対応においてリーダーシップを発揮する人材として、感染症危機管理に必要な多様かつ分野横断的な知識やスキルの修得や維持・向上を図ることを目的とした研修を実施しています。今回は、令和7年度4月に開講した長期研修について、11月に実施したプログラムの様子をご紹介します。

11月 自治体OJT（神奈川県） 鎌倉保健福祉事務所



11月11日：麻しん演習

7月に国立感染症研究所 感染症危機管理研究センターで学んだ内容を踏まえ、自治体での麻しん対応演習に向けて、研修生がアクションカードを作成し、実際に演習を行いました。演習後には、同センターの北山先生、吉見先生から講評をいただくとともに、実施内容を振り返りながら意見交換を行いました。

感染症危機管理統括庁OJT（感染症危機管理対応訓練）/ 厚生労働省 企画・検疫課OJT(成田空港検疫所)

11月14日,18日：感染症危機管理統括庁OJT

11月25-28日：厚生労働省 企画・検疫課OJT

研修生は内閣感染症危機管理統括庁のOJTとして、実際の訓練を見学する貴重な機会をいただきました。また、厚生労働省 企画・検疫課のOJTとして成田空港検疫所へ赴き訓練の見学や、港湾衛生調査の同行を実施しました（写真）。



写真：港湾衛生業務のOJT